

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成25年4月19日 NO.3

1年生を迎える会

1年生を迎える会は、昨日予定されていましたが、春の嵐で砂ぼこりがすごく、児童の安全を配慮し本日は行いませんでした。風もなくおだやかな朝。まず、1年生は屋上から、在校生全員により「人文字」を見てたいへん喜んでいました。次に、6年生と手をつないで入場。2・5年生の手拍子、4年生のリコーダー演奏。3年生のアーチ。全校児童が協力して1年生を迎える姿には、たいへん微笑ましい思いが致しました。そして、代表委員の言葉の後、5年生からプレゼントをもらい、1年生みんなが大喜びの様子がまたまたとてもかわいかったです。その後、1年生からお礼の言葉と歌。これまた立派で感心しました。在校生から大きな拍手をもらい、最後に皆で「1年生になったら」の歌を歌いました。

これで、1年生63名の児童も第七小学校の仲間入りし、358名が全員そろいスタートです。児童会・代表委員会の皆さんご苦労様でした。

よろしく
お願いします



「ありがとう」

ありがとう
ありがとう

いえば とっても
いい きもち

いわれりゃ もっと
いい きもち

ありがとう
ありがとう

「きょうはどうもありがとう
ございました。」

「おにいさん、おねえさん」
「いっばいあそんでください。」
「さいごにげんこつやまの
ためきさんの
てあそびうたを
うたいます。」

うたいます。」

♪げんこつやまのためきさん♪
♪あっぱいのでねんねして♪
♪だっこして♪

♪おんぶして♪
♪またあした♪

平成二十五年
度

1年生を迎える会の台本より

主幹軽減措置と新人育成教員配置について

学校長が学校経営を進めていくためには、経験豊かな教員にも学校運営に参画させ、副校長を補佐し、校務が滞りなく円滑にできるよう、学校には主幹教諭を配置しています。主幹教諭は、他の担任以上に学校教務や生活指導等において、様々な企画・立案・連絡調整作業を行っております。そこで、東京都では、主幹教諭授業時数軽減の措置制度を導入しております。具体的に本校では、2年1組の笹河悦郎主幹の生活科と体育と、4年1組の野間君彦主幹の国語（言葉と図書）の授業を数時間ずつ、講師の高坂ちづる教諭が受け持つことになっています。

また、同じく東京都では、小学校の新規採用教員を「学級経営研修生」として発令し、経験豊かな再任用教員を「新人育成教員」として配置し、2人で1つの学級を担当させて、子どもへの指導やその他の日常的な職務を通して指導育成を実施しています。本校では、田原佳江主任教諭が久保田晃司教諭の指導に当たることになっています。なお、新人育成教員は、非常勤教諭のため、週4日の勤務となります。

以上のように、本校では、主幹軽減と新人育成教員についての措置と配置を行っておりますことをどうかご理解いただき、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。